

議会機能については、市議会からの答申「新庁舎における議会棟のあり方について」を踏まえ、セキュリティ対策・バリアフリー対応など、必要な機能や設備を計画することとします。

整備方針

- ・ 議員や傍聴者のバリアフリー対応やユニバーサルデザイン等に十分に配慮した計画とします。
- ・ デジタル化に対応した、ICT環境の整った施設とします。
- ・ 市民も利用しやすい議会図書室や乳幼児等と傍聴できる特別室を設置するなど市民に開かれた施設とします。
- ・ 来庁者に分かりやすい動線計画・サイン計画とするとともに、十分なセキュリティ対策を講じます。
- ・ 議員控室は、議員数や会派の変動に柔軟に対応できる構成とします。

○ 本会議場

- ・ 傾斜がある対面形式とします。
- ・ 議長席や演壇における昇降設備やスロープの設置、ストッレチャーも通れるような、ゆとりあるスペースの確保等、バリアフリーやユニバーサルデザインを徹底します。
- ・ 車椅子利用者や高齢者、聴覚・視覚障がい者など様々な傍聴者に対応できる傍聴席の配置・設備を導入します。
- ・ 賓客の受入れや乳幼児等を伴う傍聴が可能となるよう特別傍聴室を設けます。

○ 委員会室

- ・ 現状と同様に、予算決算委員会室、議運・理事会室、常任委員会室、特別委員会室を設けます。
- ・ 市民傍聴を想定とした計画とします

○ 議長室・副議長室

- ・ 賓客を想定し、熊本城の眺望ができる配置を検討します。

○ 議員控室

- ・ 防音対策やプライバシーの確保、セキュリティ対策を十分に講じます

○ 会議室

- ・ 各会派用の会議室、共用の会議室を設けます。

○ 議会図書室

- ・ 議員だけでなく、市民が利用しやすい配置を検討します。
- ・ 市立図書館等のサービスと連携し、効率的に運用します。

○ その他

- ・ 障がいがある方や性的少数者など誰もが利用しやすいよう、多目的トイレを各階に配置します。
- ・ 授乳室等を設置します。
- ・ 来庁者に分かりやすい動線計画・サイン計画とするとともに、十分なセキュリティ対策を講じます。

※記載の内容のほか、今後答申の内容を踏まえた検討を行います